

# 令和3年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態		担当教員名	
聴覚障害Ⅱ（聴覚障害学）		講義		牧野 邦彦・田中 義之	
時間数（単位数）		授業回数		年次	
45 時間（2 単位）		23 回		1 年次	
開講時期					
後期					
授業の目的・概要					
聴覚伝導とその障害、特に成人聴覚障害領域について、その診断法と障害像について講義する。さらに小児、成人聴覚障害児者に対する(リ)ハビリテーションについて解説する。					
授業の到達目標					
成人聴覚障害に関する医学的診断法、病態について理解する。 小児・成人聴覚障害へのリハビリテーションについて理解する。					
授業計画					
回	内容				
1	聴覚障害について	(牧野)	16	小児聴覚障害児の評価①（乳幼児期）	
2	難聴の種類（伝音性、感音性、混合性）	(牧野)	17	小児聴覚障害児の評価②（学齢期以降）	
3	聴力検査の種類と適用	(牧野)	18	小児聴覚障害児へのリハビリテーション①	
4	純音聴力検査	(牧野)	19	小児聴覚障害児へのリハビリテーション②	
5	語音聴力検査	(牧野)	20	小児聴覚障害児へのリハビリテーション③	
6	中耳機能検査	(牧野)	21	小児聴覚障害児へのリハビリテーション④	
7	内耳機能検査	(牧野)	22	視覚聴覚二重障害児(者)へのリハビリテーション①	
8	成人聴覚障害	(牧野)	23	視覚聴覚二重障害児(者)へのリハビリテーション②	
9	聴覚障害概論①		24		
10	聴覚障害概論②		25		
11	成人聴覚障害の評価①		26		
12	成人聴覚障害者へのリハビリテーション①		27		
13	成人聴覚障害者へのリハビリテーション②		28		
14	高齢聴覚障害者の評価・リハビリテーション①		29		
15	高齢聴覚障害者の評価・リハビリテーション②		30		
成績の評価法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
定期試験	100%	牧野講師30点、田中講師70点の計100点満点で評価			
レポート					
小テスト					
平常点					
その他					
自由記載					
教科書					
書名	著者・編集者名		出版社名		
イラスト耳鼻咽喉科 第4版	森満保 著		文光堂		
聴覚検査の実際 改訂第4版	日本聴覚医学会 編		南山堂		
標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版	中村公枝 他編		医学書院		
自由記載					
参考文献					
書名	著者・編集者名		出版社名		
自由記載	参考図書は講義時に適宜紹介				
備考					